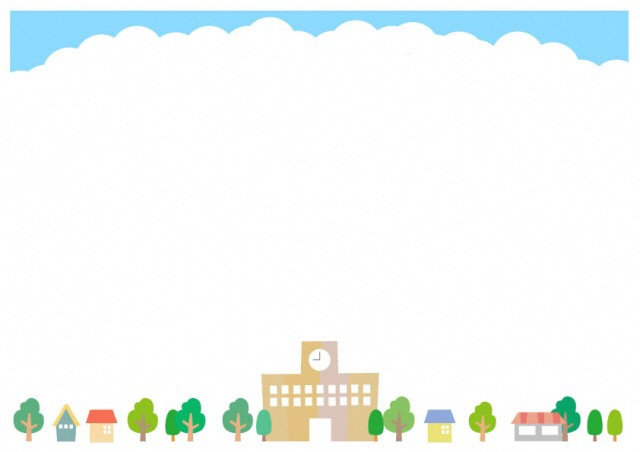


**金浦中学校ブロック小中一貫教育校**

**整備検討委員会だより**

**ＮＯ．３**

**笠岡市教育委員会　教育改革推進室　教育総務課**



**第３回金浦中ブロック小中一貫教育校整備検討委員会**

**・日 時　 令和４年７月２１日（木）**

**午後２時００分～**

**・場 所　 笠岡市役所分庁第４　２階大会議室**

**・参加者　２５名（委員１５名，事務局１０名）**

委員変更のお知らせ

　令和４年７月２１日付けの団体からの申出による変更

　　　新川保育所　川上保護者代表

「施設一体型小中一貫教育校施設整備の基本的な考え方」を示しました

**・目指す学校の姿について**

　　　①　学びに向かう子供たちを支える学校

　　　②　安全・安心・快適で，温もりを感じながら過ごせる学校

　　　③　地域と一体となって子供たちの成長を支える学校

**・小中一貫教育の推進に対応した学校施設整備について**

【 基本方針 】

①　義務教育９年間の一貫した教育課程（活動）を支える環境

②　義務教育９年間の一貫した学校運営を支える環境

③　保護者や地域と一体となって子供たちの学びを支える環境

④　将来変化に柔軟に対応し，高機能で多様な学習を支える環境

⑤　安全安心で，子供たちの豊かな学校生活を支える環境

⑥　既存施設の有効活用と新設施設が調和した環境



**○委員より**

　・ハード面とソフト面を分けて議論した方がいい。

　・こういう教育をしたいから，こういう施設にしたいというのを繋げるのが検討委員会の目的である。計画自体がぼんやりしていると感じる。

・中学生にも理解ができるようなわかりやすいパンフレットを配布したらいい。

**○事務局より**

　・専門性を高めるため，教科教室制をできる範囲で取り入れたい。教職員がしっかり交流できる施設にしたい。地域・保護者が交流する部屋が必要。全部とはいかないまでも，施設一体型の良さを生かしていきたい。

　・今後は笠岡市の理念を実現するための具体的な例を挙げて，皆さんにどう思うかを考えていただけるようにしたい。

前回の府中学園視察の様子や，参加者アンケート結果を説明しました

**○事務局より**

・小中一貫校は，金浦中の敷地内で中学校の校舎・体育館をリノベーションし，小学校を新設しつながった状態にしたい。

・保護者や地域の人が日常的に入ってこれる部屋・場所を作りたい。

・通級学級などに活用できるように余裕をもって部屋を作り，柔軟に使えるようにしたい。

**○委員より**

・検討委員会の最終目標は，設計するための発注書の作成だと考えている。

・中学校のリノベーションは一定の制約があるが，実際の中学校の状況を調べて検討すれば，オープンスペース等に対応できると思う。

・全国的にも保護者や地域の人が学校に入り，サポーターとして手伝いをしているところがある。

・学校現場としては，体育館等で小中学校がブッキングしないように配慮してほしい。

・子どもたちが休憩して教室に戻れることや，日常的に保護者が見に行ったり，先生と話せるスペースを設けるのはとてもいいと思う。

・体育館はできることなら，２つ作ってほしい。

・地域の方が学校に出入りすれば子どもにはいい刺激になるが，不審者が心配。そのルールが具体的になれば安心できる。

・小中を分けることも配慮が必要だが，せっかく施設一体型になるので小中学生が交わりあう場所が必要。それで子どもたちの心が育つと思う。

・浸水対策をしっかりしてほしい。

・小中の先生の間には大きな壁があるが，府中学園では先生が気持ちを一つにして前に進みだした時に，先生がすごく変わってきた。先生が変われば子どもも変わる。一貫校を作ることが目的ではなく，子どもたちを育てていくことが目的である。

・空間的に余裕のある学校にしてほしい。



今後のスケジュール



小中一貫教育校の基本計画策定の委託業者が決定したので，次回　からは検討委員会に業者も参加する。今後，検討委員会は３～４回開催する予定。次のようなことを協議していき，Ｒ５年３月に基本計画を策定したい。

・児童生徒の発達段階や学習内容に応じたゾーニング

・児童・生徒の動線を考慮した適切な学校運営を実現させるための配置計画

・小中一貫校に導入する機能や必要諸室，面積等の施設計画

・浸水対策も含めた外構や駐車場等の場内整備等の施設整備　など